

小地域ネットワーク活動活性化事業【中央小学校区】 地域座談会を開催しました ～地域の防災を考える～



「小地域ネットワーク活動活性化事業」とは、小学校区を単位としながら、地域の組織（町内会、地区社協、民生委員・児童委員、学校、PTAなど）が主体的に協力し合い、行政などと横断的に連携し、地域において取り組むべき課題を検討し、具体的な活動に取り組む体制を構築しようというものです。現在、釧路市内においては、中央小学校区の他に5つの小学校区で展開されており、既存の組織同士が結び付くことによって、組織間の連携や地域課題の共有、事業の協働ができるような関係性が築きあげられてきております。

地域(中央小学校区)の防災について、参加者41名が共に語り合いました

釧路市社会福祉協議会及び橋北東部地区連合町内会、橋北西部地区連合町内会、釧路市中部南地域包括支援センターの主催のもと、平成26年10月30日(木)、中央小学校を会場に地域からは中央小学校教員・PTA、町内会員、民生委員・児童委員、消防団五七分団員の皆様にご参加いただき、いつ起こるか分からない災害に備えて、自分たちの地域の防災について活発な意見交換がなされました。

～基調報告～

釧路市立中央小学校 校長 合田 晃子 氏

合田校長からは、現在、中央小学校で指定を受ける予定である「コミュニティ・スクール」の取組みと方向性についてお話しいただきました。

橋北西部地区連合町内会 会長 西村 毅 氏

自分たちの地域は自分たちで守る。いつ起こるか分からない災害に備え、日頃からの地域住民の繋がりの大切さについてお話しいただきました。

～グループワーク～

6グループに分かれ、地域の防災をテーマにグループワークが進められました。

各グループからは、登下校時に災害があった場合に子どもたちの避難をどうするか、独りでは逃げられない高齢者への対応はどうか、など様々な課題が出され、それらの課題を解決するためには、日頃からどのようなことを行わなければならないのかにつき協議。地域にある組織が連携し、地域住民の安全を守る仕組みづくりが必要であるなど積極的な話し合いが行われました。

